

K121.82

36

2

東京尋常師範校長 元田 直校閱  
新撰小學作文書  
東京學園會 編纂

尋常科用 第二

K121.82  
36  
2

東京尋常師範學校長 元田 直校閱

新 撰

# 小學作文書

尋常科用

第二

東京 學園會 編纂

1955.5.6 23

新撰 小學作文書第二

凡 例

一、本卷ハ尋常小學科第二學年ノ課程ニ照シ、簡易ナル漢字交リ文、及口上書類ヲ記載セシモノニテ、最初ノ記事文ハ第一卷ニ續キテ綴リ易キ談話體ヲ用ヒ、徐々ニ文章體ニ移セリ。

二、本卷第一課第二課ニ於テミミミ、アルトコロヘハ漢字ヲ填メミミミノ處ヘハ假名ヲ填メシムルナリ。其ノ他點線ノアル處ヘハ總テ相當ノ語ヲ漢字或ハ假名ニテ記入セシムベシ。

425254/23

新小學作文書第二

凡例



本卷ハ尋常小學科第二學年ノ課程ニ照シ、簡易ナル漢字交リ文及口上書類ヲ記載セシモノニテ、最初ノ記事文ハ第一卷ニ續キテ綴リ易キ談話體ヲ用テ徐々ニ文章體ニ移セリ。



二、本卷第一課第二課ニ於テミミミミアルトコロヘハ漢字ヲ填メミミミミノ處ヘハ假名ヲ填メシムルナリ。其ノ他點線ノアル處ヘハ總テ相當ノ語ヲ漢字或ハ假名ニテ記入セシムベシ。

三、第七課ノ如キモノハ俗語ヲ文語ニ改ムルコトヲ教フルモノニテ、例式ニ示ス如ク、「あかいはなトイヘル」俗語ヲ「赤き花トイヘル」文語ニアラタメシムベシ。

練習題ノ俗語ハスベテ文語ニアラタメシムベシ。

四、第十三課ハ庶物ノ構造ヲ文章體ニテ簡單ニ記サシムルモノニテ、先ヅ作例ヲ示シ、練習ニ舉ゲタル題ニ就キ、其物ノ構造ヲ問答シ、生徒ヲシテ明ニ言語ニ發セシメ、然ル後之ヲ記述セシムベシ。

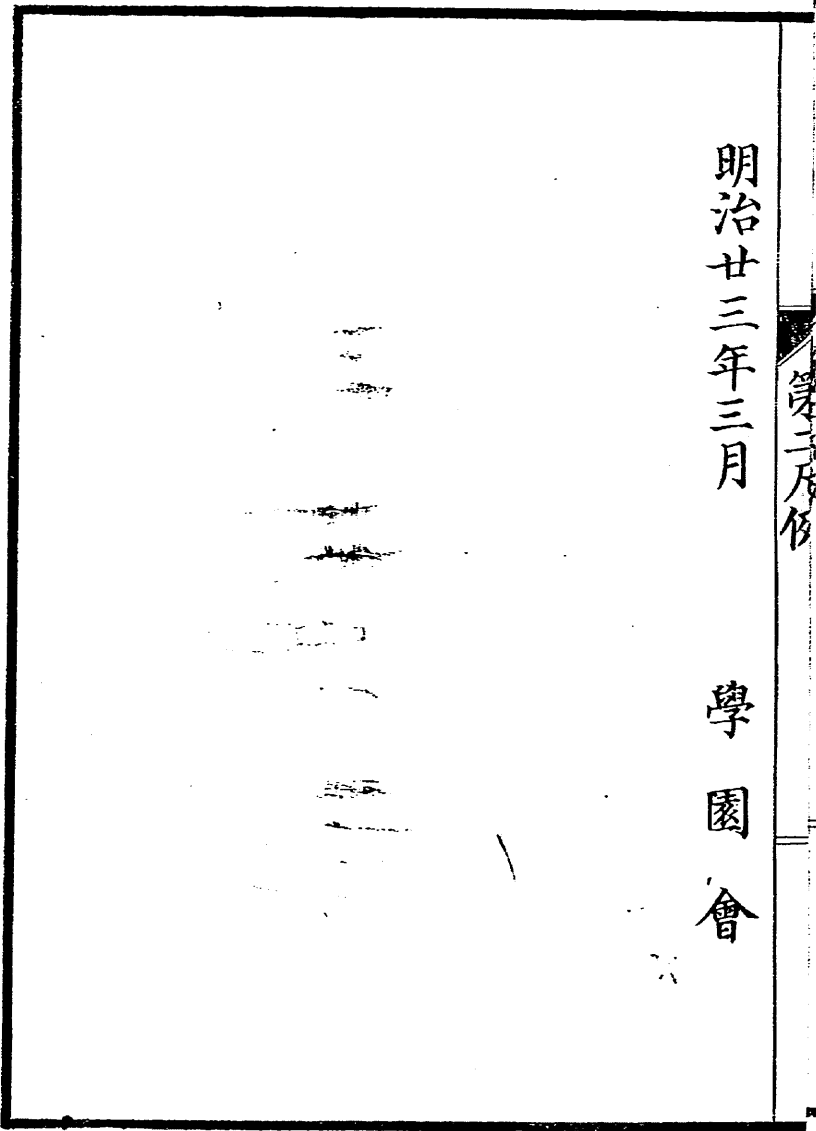
シ。

五、第二十課ハ附與シタル句ヲ用ヒテ一ノ記事文ヲ綴ラシムルナリ。之ヲ綴ラシムルニハ先ツ附與シタル句ヲ讀ミ、且其ノ意義ヲ明ニセシメ、然ル後生徒ノ工夫ニテ、其ノ句ヲ連結サシムベシ。

六、第三十課以下ハ總テ口上書ナリ。コハ書牘文ヲ教フルノ端緒ナレバ、初ハ簡單ニシテ學ビ易キ一文ヲ教へ、次ニ既知ノ句ニ一ニ二ノ未知語ヲ加へ、次第ニ步ヲ進メテ、稍複合シタル口上書ヲ綴ラシムルニ至ル。

明治廿三年三月

學園會



新撰小學作文書第二

東京師範學校長元田直 校閱

東京學園會 編纂

課 枝花鳥



カサイテア

リマス。ニミ、ノエダニト

リガニミ、井マス。

コノトリハミデアリマス。



第二課 門松日ノ丸月

コノ日ハミ、月、ミ、日デアリマス。ドコノ  
 イヘニモミ、ノミ、ノハタ  
 ミ、ミ。  
 ムスメノコガミ、ノソ  
 バデミ、ミ、ヲツキマス。  
 コノムスメノコハ、パナ  
 ミ、ミ、ヲキテ井マス。



第三課 例。 學校、本手子。

コノフタリノ子ハ、ドコヘユキマスカ。  
 コノ二人ノ子ハ、學  
 校ヘユキマス。

練習。

- (一) 男ノ子ガ、土ヲシマスカ。
- (二) 男ノ子ガ、土ニヲサゲテ



井マスカ。

(三) 女<sup>メナ</sup>ノ子カナニヲモチテ井マスカ。

(四) 男ノ子ハナニヲカブリテ井マスカ。

第四課。

例。

(一) アナタノ名ハナニトマウシマスカ。

ワタクシノ名ハ太郎トマウシマス。

練習。

(一) アナタノ年<sup>トシ</sup>ハイクウデアリマスカ。

(二) アナタノ家<sup>イヘ</sup>ハドゴノナンバンヤシキデスカ。

(三) アナタハ朝<sup>アサ</sup>ナンジニオキマスカ。

(四) アナタハ朝<sup>アサ</sup>ハヤクオキテナニヲシマスカ。

(五) アナタハナンジニガクカウヘマ井リマスカ。

(六) アナタハガクカウデナニヲマナビマスカ。

(七) アナタハガクカウヨリカヘルトナニヲシマスカ。

(八) アナタハヨルナンジニヤスミマスカ。

第五課。

(教師口唱シテ左ノ談話ヲ書取ラシムベシ)

桃太郎ハチ、バ、ニキビ  
 ダンゴヲコシラヘテモラヒ  
 ソレヲベンタウニシテ、鬼ガ  
 島ヘタカラ物ヲトリニ  
 デカケマシタ。  
 ソトキ犬ガイチバンハ  
 ヤクキテ、



夫「桃太郎サン、アナタノベンタウブクロニハ  
 ナニガアリマスカ。」

桃太郎「

ワタクシハ日本一ノキビダンゴヲモツ  
 テ井マス。」

犬

「ワタクシニヒトツクダサイマセ、ワタクシハ  
 オトモイタシマセウ。」

ソレニ桃太郎ハベンタウブクロカラキビダン  
 ゴヲ一ツトリダシテ、犬ニヤリマシタ。



ソノトキサルガキテ、犬トオナジコトヲイ  
ヒマシテ、キビダシゴヲモラヒマシタ。 ソコヘ  
マダキシガトシデキテ。

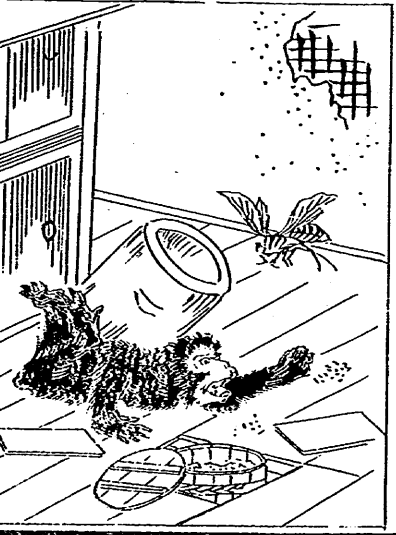
キシ「ワタクシニモキビダシゴヲ一ツクダサイマ  
セ、ワタクシモオトモイタシ マセウ。

ソレデイヌトサルトキジトガ桃太郎  
ノトモヲシテ、鬼が島ヘユキマシタ。

第六課

(教師口唱シテ猿蟹合戦ノ話ヲ書取ラシムベシ)

(一)サルガニキリメシヲヒロツタ  
コトカラ、カニニコロサレタマデ  
ノハナシ。  
(二)カニノコガウス、キ子、タゴ、  
ハチニタケラル、マデノハナシ。  
(三)カニノカタキウチノ、ヲリ  
マデノハナシ。



第七課。

例。

第一  
(俗) アカイハナ。  
(文) 赤き花。

第二  
(俗) オホキナ イヌ。  
(文) 大きなる犬。

練習。

(一) シロイカミ。

(二) タカイヤマ。

(三) ナガイイト。

(四) フカイカハ。

(五) キレイナキモノ。

(六) アタカナテシキ。

(七) オホキナキ。

(八) チイサイエダ。

第八課。

例。

(俗) ウマハヤイ。  
(文) 馬ははやい。

練習。

- (一) ウシハ オツイ。
- (二) イヌハ オホキイ。
- (三) 子コハ チイサイ。
- (四) ミヅハ ツメタイ。

第九課。

例。

(俗) イ子ハ タニツルモノダ。

(文) 稻は田に作るものなり。

練習。

(一) 麥ムギ

(二) セリ。

(三) 大根ダイコン。

第十課。

例。

アイノ色ハ...

アイノ色ハ青シ。

練習。

(一) ベニノ色ハ...

(二) カラスノ羽ハ...

(三) ユキノ色ハ...

- (四) フチノ花ハミイロナリ。  
 (五) 菜ノ花ハミミミミミミミ。  
 (六) ミミミノ花ハ赤色ミミミ。  
 (七) ミミミノ花ハ黄色ミミミ。

第十一課。

例。

メハナニノヨウヲシマスカ。  
 目は物を見るものなり。

練習。

- (一) ミ、ハナニノヨウヲシマスカ。  
 (二) クチハナニノヨウヲシマスカ。  
 (三) ハナハナニノヨウヲシマスカ。  
 (四) コノメハドンチデアリマスカ。  
 (五) キジノチハドンチデアリマスカ。  
 (六) ツルノクビハドンチデアリマスカ。

第十二課。

例

(俗) カラハツチヲヤイテツル。

(文) 瓦ハ土ヲヤキテ作ル。

練習。

(一) 本。

(二) 井。

(三) 板。

(四) 家。

(五) 紙。

(六) トウフ。

第十三課。

例。

(俗) ケサアメガフリマシタ。

(文) 今朝雨フリタリ。

練習。

(一) キノウオホカゼガフキマシタ。

(二) ワタシハケサトモダチノイヘニキマシタ。

(三) ワタクシハキノフホシヲワスレマシタ。

(四) サダクシハキノフツリニキマシタ。

(五) ワタクシハケササンジウヲマデヒマシタ。

第十四課

例。

(俗) ミヤウニ手ハテシキガヨカラウ。

(文) 明日ハ天氣ヨカラシ。

練習。

(一) ワタクシハホシヲヨマウ。

(二) コシヤハアメガツヨクフラス。

(三) コシヤハユキガツモラウ。

(四) ワタクシハコシヤハヤクヤスマウ。

(五) ワタクシハアスハヤクガクカウヘユカウ。

第十五課

例。

(俗) コノイケノナカニチサイフ子ガアリヌ。

(文) コノ池ノ中ニ小サキ舟アリ。

練習。

(一) コノツクエノ上ニウツクシイホシガ

アリマス。

(二) アノヒロイニハニオホクノハナガ

アリマス。

(三) コノヤマニハオホキナキガアリマス。

(四) アソコノオホキナカニナガイハシガ

アリマス。

第十六課。

例。

(俗) スズリハイシデコシラヘスミヲスルモノダ。

(文) 硯ハ石ニテ作り、墨ヲスルモノナリ。

練習。

(一) 硯箱。スズリバコ。

(二) 机。ツク。

(三) クツ。

(四) ゲタ。

第十七課。

タバコ入ハ皮マタ紙ニテ作り、タバコヲ  
入ル、モノナリ。

練習。

- (一)キンチヤク。(二)ヒバチ。(三)キセル。

第十八課。

例。

(俗)イシハカタクテ、オモイ。

(文)石はかたくして、重し。

練習。

- (一)ハ子ハヤハラカテ、カロイ。  
(二)ガラスハナメラカテ、カタイ。

(三)ワタハヤハラカテ、アタ、カイ。

(四)コホリハナメラカテ、ツメタイ。

(五)ツルハオホキナトリテ、クビガナガイ。

(六)アハハキイロテ、コマカダ。

(七)カナリヤハコトリテ、ヨクサヘツリマス。

第十九課。

例。

火ハアツク、水ハ……。



火ハアツク、水ハツメタシ。

練習。

- (一) ミミハオモク、羽ハミミ。
- (二) 鳥ハミミ、サギハ白シ。
- (三) 本ハアツク、紙ハミミ。
- (四) 山ハミミ、家ハヒクシ。
- (五) 犬ハミミ、馬ハ大キナリ。
- (六) ミキハフトクシテ、枝ハミミ。

第二十課。

例。

鶯ハヨクサベツル、人ニ愛セラレ。  
 鶯ハヨクサヘズ、故人ニ愛セラレ。

練習。

- (一) 櫻ノ花ハモトモウツクシ、愛セラレ。
- (二) 太郎ハヨク勉強ス、賢シ。
- (三) 次郎ハオモル、愚。

第二十一課

例。

(俗) ナシハアキミルクダモノデソノアチガアマイ。  
(文) 梨ハ秋ジツスル果ニシテ其ノ味甘シ。

練習。

(一) 柿<sup>カキ</sup>。

(二) 栗<sup>クリ</sup>。

(三) ミカン。

(四) ブドウ。

(五) リンゴ。

第二十二課

例。

(俗) ハルハアタカデ、ナツハアツイ。  
(文) 春ハアタカニシテ、夏ハアツイ。

練習。

(一) アキハスビシクテフユハサムイ。

(二) スミノイロハ多クテシユノイロハアカイ。

(三) サナウハアマクテ名ウガラシハカライ。

(四) 子ゴハチイサクテウマハオホキイ。

(五)之キハフトクテ、エタハホソイ。

第二十三課。

例。

春ハアタ、カニシテ、ミヒラク。  
春ハアタ、カニシテ、花ヒラク。

練習。

- (一)夏ハ、、、草木、、、。
- (二)秋ハ、、、多モ、、、。

(三)冬ハ、、、水ノ葉、、、。

(四)雨フレバ、、、水マス。

(五)霜、、、水ノ、、、オツ。

第二十四課。

例。

衣服ハ木綿、絹、麻等ニテ作り、カラダニキルモノナリ。

練習。

(一) 家。

(二) 倉クラ。

第二十五課。

例。

(俗) トリガ マダ ナカナイ。

(文) 鳥 いまだ なかず。

練習

(一) ハナガ マダ サカナイ。(二) ヒガ マダ クレナイ。

(三) ヨガ マダ アケナイ。(四) タモノガ マダ ジユク

セナイ。

(五) アメガ マダ フラナイ。

第二十六課。

例。

(俗) コノコハ ウマニ ノネウ トシマス。

(文) この子は馬にのらんとす。

練習。

(一) タネウ ハフ子ニ ノネウ トシマス。

(二) ジネウ ハクシヨクウ トシマス。

- (三) コノ子ヲハクラニイリテ、子ズミヲトスウトシマス。
- (四) アノサルハキニノボリテ、クダモノヲトスウトシマス。
- (五) アノタメハシヨモツヲモテテ、ガクカウニユカウトシマス。
- (六) コノ子ハ子ウホバデズシコニノラウトシマス。

第二十七課。

例。

(俗) イヌハイヘヲモルタメニヤシナレマス。  
 (文) 犬は家をまもるために養はる。

練習。

- (一) ウマハニヲニナフタメニヤシナレマス。
- (二) ウシハタチタガヘスタメニヤシナレマス。

- (三) ヒツシハケヲアタルタメニヤシナレマス。
- (四) ダイコントカヲトハ子モハモクハレマス。
- (五) ナトセリトハハガクハレマス。
- (六) ニトリハタゴトニラトヲアタルタメニヤシナレマス。

第二十八課。

例。

(俗) キヌイトハマユカラセイシキヌヲオルニモチヒ

マス。

(文) 絹糸はまゆよりせい、絹をねるに用ふ。

練習。

- (一) 麻アサ
- (二) 木綿糸モウズンイト

第二十九課。

例

(雞ニトリ) 家ニカラ。卵タマゴヲウム。

雞ハ家ニカフ鳥ニシテ、ヨク卵ヲ  
ウム。

練習。

- 一。(牛) ツヨキ 獸<sup>等</sup> 田ヲタガヘス。
- 二。(馬) 人ヲ乗ス。 スミヤカニ走ル。
- 三。(犬) カシコキ 獸 家ヲマモル。
- 四。(狐) ワルガシコキ 獸 雞ヲトル。

第三十課。

例。

(俗) コノシヨモツ シンジヤウ イタシマス。  
 (文) 此書物 進上<sup>イタ</sup>イ<sup>タ</sup>。

練習。

次<sup>ツギ</sup>ノ 浴<sup>ユ</sup>語<sup>ゴ</sup> ヲ 文<sup>モン</sup>語<sup>ゴ</sup>ニ 改<sup>カ</sup>メ<sup>メ</sup>ヨ。

- (一) コノ アギカト 台<sup>ダイ</sup>シ<sup>シ</sup>ン<sup>ン</sup>ジ<sup>ジ</sup>ヤウ<sup>ヤウ</sup> イタシマス。
- (二) ナシカト 空<sup>カラ</sup>シ<sup>シ</sup>ン<sup>ン</sup>ジ<sup>ジ</sup>ヤウ<sup>ヤウ</sup> イタシマス。
- (三) コノ 繪<sup>エ</sup>紙<sup>カミ</sup> オトウト サマニシ<sup>シ</sup>ン<sup>ン</sup>ジ<sup>ジ</sup>ヤウ<sup>ヤウ</sup> イタシマス。

次ノ手紙文ヲカケ。

(四) 筆ヲオクル文ヲカケ。

(五) オモキヤヲオクル文ヲカケ。

第三十一課。

例。

(俗) ケコウナ多シアリガ多ウツンジマス。

(文) けつこうなる菓子有りがた  
く存じゆ。

練習。

次ノ俗語ヲ文語ニ改メヨ。

(一) ケコウ ナアフギ、アリガ多ウツンジマス。

(二) オモシロイ子ガミヲイタスキマシテアリガ多ウ  
ツンジマス。

(三) ウツクシイウメノハナヲイタスキマシテアリ  
ガ多ウツンジマス。

次ノ手紙文ヲカケ。



- (四) 人形ニシヲモラッタオレイノ文。
- (五) 繪草紙エゾヲモラッタオレイノ文。

第三十二課。

例。

(俗) キミノエホシオカリマウシタイ。  
 (文) 君の繪本お借致し度。

練習。

次ノ俗語ヲ文語ニ改メヨ。

- (一) キミノタケウマ、チヨトオカリマウシタイ。
- (二) キミノセキバンニサンテノアヒダ、オカリマウシタイ。

次ノ手紙文ヲカケ。

- (三) 續本ヲカリニヤル文。
- (四) タコヲカリニヤル文。

第三十三課。

例。

(俗) オカリ マウシタ ドクホシ オカヘシ マウシマス。  
(文) 拙借の讀本返還し申す。

練習。

次ノ俗語ヲ文語ニ改メヨ。

- (一) オカリ マウシタカラカサ オカヘシ マウシマス。
- (二) サクヤ オカリ マウシタ チヤウチン オカヘシ マウシマス。

次ノ手紙文ヲカケ。

- (三) カリタル セキバンヲカヘス文。
- (四) カリタル シラジホシヲカヘス文。

第三十四課。

例。

(俗) ミヤウチ テンキガヨクバ ハナミニマ井リタイ。  
(文) 明日 天氣 よろしくいりし 花見  
にまわり 度し。

練習。

次ノ俗語ヲ文語ニ改メヨ。

(一) エヤウニテ テンキガヨクバ ミミミ 子、サンボ  
ニマ井リ タイ。

(二) コシニテ キミガオヒマ ナラバ、タマナゲヲ  
イタシ タイ。

次ノ手紙文ヲカケ。

(三) キコトトリニユキタイトイフ文。

(四) クサツミニユキタイトイフ文。

第三十五課。

例。

(俗) オモシロイ アソビガアリヌカラス オイデク多イ。  
(文) ねもろき 遊これありの 間御  
出下され度也。

練習。

次ノ俗語ヲ文語ニ改メヨ。

(一) 明<sup>ミヤウ</sup>晚<sup>イン</sup> 花火がありますから ねいでくだ

ま。

(二) 今日の次郎のたぐやう目でありませ  
から、おいでください。

(三) 明日のお祭ですから、おいでください  
ませ。

(四) 只今、かきた遊をはじめましたから、  
おいでください。

(五) 鈴木君が、おまちまうしてをります

から、ちよつと、おいでください。

次ノ手紙文ヲカケ。

(六) 年忌子シキにともだちをよぶ文。

(七) 夜學ヤガクにともだちをまねく文

第三十六課。

例。

(俗) センシツオアゲマシタドクホシオカシクダサイ。

(文) 先日、差上り、讀本、返返、下

さるべくい。

練習。

次ノ俗語ヲ文語ニ改メヨ。

(一)先日さしあげました給中此者へおかけ  
ーください。

(二)先日あげておきました竹馬至急お  
かけください。

次ノ手紙文ヲカケ。

(三)かゝる尺モノサシをさゝりくする文。

(四)かゝる羽子板ハコゴをさゝりくする文。

新撰 小學作文書第二終。

K1258

第 二

明治二十三年五月三日印刷今年五月五日出版  
明治二十三年八月廿日訂正再版印刷今年八月廿廿出版

錢六分定

編纂

學園會

東京市神田區表神保町十番地

發行者兼  
印刷者

森本芳之助

東京市神田區佐久間町三丁目十八番地

發賣所

中村與右衛門

東京市日本橋區橋町四丁目十六番地

發賣所

水野慶治郎

東京市日本橋區通油町十八番地

版權所有

